

◎昭和40年度第4回理事会(40.9.24)出席者:岡部会長,大石,山内副会長,羽田専務理事,青木,板倉,春日屋,久保,近藤,篠原,富所,成岡,藤田,松尾,耳野,村上,森垣,八木の各理事および井関,武内の両監事。議事録署名理事の決定:岡部会長,羽田専務理事,春日屋理事。A. 報告事項:つぎの各項について羽田専務理事より説明があり了承された;1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会報告。4) 支部幹事長会議報告。5) 委員会規程について;総務(成岡),企画(松尾,耳野,森垣)担当理事と9月24日15時30分より規程案を検討して,成案を得たので委員長に照会して,その回答によりさらに検討することになった旨報告。6) その他。B. 協議事項:A. 朝日賞候補推薦について。2) 松永賞候補者推薦について。3) 会員の増加対策について。4) その他。5) 委員の委嘱について。

① コンクリートPC工法小委員会

- 委員長 国分 正胤 東京大学工学部
 委員 小林 一輔 東京大学生産技術研究所
 村田 二郎 都立大学工学部
 岡村 甫 東京大学工学部
 横道 英雄 北海道大学工学部
 後藤 幸正 東北大学工学部
 岡田 清 京都大学工学部
 水野 高明 九州大学工学部
 荒木 謙一 徳島大学工学部
 加賀美一二三 山口大学工学部
 神山 一 早稲田大学理工学部
 小竹 竹之助 日本大学理工学部
 西沢 紀昭 中央大学理工学部
 船越 稔 広島大学工学部
 河野 通之 国鉄構造物設計事務所
 樋口 芳朗 国鉄鉄道技術研究所
 尾坂 芳夫 国鉄構造物設計事務所
 三浦 一郎 国鉄鉄道技術研究所
 菅原 操 国鉄建設局停車場課
 仁 杉 巖 国鉄常務理事
 池田 康平 国鉄構造物設計事務所
 伊東 茂富 建設省土木研究所地質化学部
 池田 哲夫 建設省道路局高速道路課
 村上 永一 建設省土木研究所
 尾之内由紀夫 建設省道路局
 官崎 昭二 首都高速道路公団神奈川建設部
 上前 行孝 首都高速道路公団工務部
 有江 義晴 首都高速道路公団工務部
 乙藤 憲一 日本道路公団高速道路部
 猪股 俊司 KK日本構造橋梁研究所
 小寺 重郎 八千代エンジニアリングKK

- 猪瀬 寧雄 日本建設コンサルタントKK
 委員 南 俊次 阪神高速道路公団
 粕谷 逸男 日本鉄道建設公団計画部
 堂垣内 尚弘 北海道開発庁事務次官
 ◎表彰制度審議委員会
 委員長 長岡部 三郎 東亜港湾工業KK取締役社長
 委員 大石 勇 高野建設KK取締役副社長
 副委員長 水野 高明 九州大学教授
 山内 一郎 参議院議員
 功績賞主査 伊藤 直行 建設省道路局地方道課長
 内林 達一 KK水野組専務取締役
 森垣 常夫 国鉄本社審議室調査役
 酒井 忠明 北海道大学教授
 照井隆三郎 KK留岡組常務取締役
 堀 武男 富士製鉄KK取締役企画部長
 技術賞主査 有江 義晴 首都高速道路公団工務部長
 樋口 芳朗 国鉄鉄道技術研究所
 委員 成岡 昌夫 名古屋大学教授
 倉田 宗章 大阪市立大学教授
 岡田 清 京都大学教授
 村田 清逸 中国電力KK土木部次長
 内田 一郎 九州大学教授
 板倉 誠 日本上下水道設計KK取締役社長
 村上 永一 建設省土木研究所長
 福田 武雄 構造計画コンサルタント取締役社長
 国分 正胤 東京大学教授

◎論文賞選考委員会

- 委員長 板倉 誠 日本上下水道設計KK取締役社長
 副委員長 伊藤 剛 産業計画会議委員
 第1部門
 主査 久保慶三郎 東京大学教授生産技術研究所
 第2部門
 主査 嶋 祐之 東京大学教授
 第3部門
 主査 松尾新一郎 京都大学教授
 第4部門
 主査 八十島義之助 東京大学教授
 委員 篠原登美雄 運輸省港湾局建設課長
 小川 博三 北海道大学教授
 岩崎 敏夫 東北大学教授
 井上 孝 東京大学教授
 佐藤 肇 運輸省港湾局長
 吉田 俊弥 信州大学教授
 伊藤 富雄 大阪大学教授
 畑中 元弘 神戸大学教授
 星 治雄 徳島大学教授
 椿 東一郎 九州大学教授
 樋口 芳朗 国鉄鉄道技術研究所
 村上 永一 建設省土木研究所長
 本間 仁 東京大学教授
 那須 信治 早稲田大学教授
 畑野 正 電力中央研究所技術研究所
 奥村 敏恵 東京大学教授
 藤井松太郎 国鉄技師長
 長山 泰介 日本原子力研究所
 国分 正胤 東京大学教授
 阿部 英彦 国鉄構造物設計事務所
 幹事 佐藤 敦久 東京都立大学助教授
 津野 和男 首都高速道路公団工務部第二設計課

◎トンネル工学委員会

- 委員 池原武一郎 国鉄建設局線増課
 齊藤 徹 運輸省鉄道監督局国有鉄道部施設課
 後任委員 加来 利一 労働省労働基準局安全課
 ◎河北潟干拓建設事業河口工事施工に関する研究委員会
 委員長 福田 志志 東京大学農学部
 委員 本間 仁 東京大学工学部
 岩垣 雄一 京都大学防災研究所
 堀川 清司 東京大学工学部
 鶴岡 鶴吉 東京大学生産技術研究所
 山田伴次郎 宇都宮大学農学部
 田村徳一郎 明治大学農学部
 幹事 中村 武夫 農林省農業土木試験場
 河内 三郎 農林省農業土木試験場水理部
 杉田 栄司 農林省農地局建設部開墾建設課
 大月洋三郎 農林省農地局建設部開墾建設課
 藤井 敬 農林省農地局建設部設計課設計官
 重見 通 農林省農地局建設部
 天野 景敏 農林省農地局建設部開墾建設課
 川戸 幹郎 農林省農地局建設部設計課設計官
 近藤比佐雄 農林省農地局河北潟干拓建設事業所
 幹事補佐 中村 充 農林省農業土木試験場水理部第四研究室
 高田 徳博 農林省農地局建設部開墾建設課
 代田 治巳 農林省北陸農政局建設部開墾建設課
 荒井 利之 農林省北陸農政局建設部開墾建設課
 杉浦 辰夫 農林省北陸農政局河北潟干拓建設事業所内蔵支店

◎トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究委員会

- 委員長 坂本 貞雄 KK大林組土木部
 委員 伊吹山四郎 建設省土木研究所千葉支所道路部
 森 宣制 労働省産業安全研究所土木課
 遠藤 浩三 東京都交通局高速電車建設本部建設課
 丸安 隆和 東京大学生産技術研究所
 吉村 恒 国鉄建設局調査課
 今田 徹 建設省土木研究所トンネル研究室
 足立 貞彦 日本鉄道建設公団本社
 長友 成樹 建設省土木研究所千葉支所トンネル研究室
 高橋 彦治 国鉄鉄道技術研究所地質研究室
 今西 誠也 日本道路公団計画部技術課
 欽吉 精一 鉄建建設KK専務取締役技術研究所
 南部 繁春 建設省道路局
 藤井 浩 国鉄建設局線増課

◎各種委員会

- (1) 高校土木教育研究委員会 水理実験指導書編集専門分科会(40.8.25)出席者:関係者8名。議事:アンケート項目について。
 (2) 文献調査委員会(40.9.1)出席者:高橋委員長,ほか13名。議事:1)学会誌第50巻第11号登載抄録について。2)解説記事について。3)担当雑誌について。4)外国新刊書選定について。

(3) 建設年鑑(仮称)第1回準備委員会(40.9.3)出席者:八十島委員長,ほか6名。議事:1)経過報告。2)名称内定。3)その性格の決定。4)編集方式について討議。5)作業日程について討議。6)年鑑目次の内定。7)その他。

(4) 出版企画委員会(40.9.7)出席者:森委員長,春日屋副委員長,久保幹事長,ほか7名。議事:1)各種出版物の進捗状況を報告(全22点)。2)土木工学叢書・わかり易い土木講座(仮称)・応用力学公式集(仮称)・建設年鑑'65(仮称)・土木製図規準・水理実験指導書の各出版物についてそれぞれその後の作業進捗状況を報告し,問題点を協議した。3)表彰制度について春日屋副委員長より説明し,これに関し出版文化賞(仮称)の制度について幹事会で原案を協議することとなった。

(5) 水理委員会常任幹事会(40.9.9)出席者:石原委員長,ほか7名。議事:1)水理講演会開催に関する件;昭和41年2月18~19日土木学会土木図書館講堂にて開催。2)水工学に関する夏期研修会に用いたテキストの販売方法について。

(6) 会誌編集小委員会(40.9.10)出席者:樋口委員長,ほか9名。議事:1)会誌第50巻第11号編集について。2)次回講座の件。3)会誌第51巻第1号の件。4)会誌第50巻第10号登載の今日の焦点の内容を検討。5)編集権の問題討議。6)その他。

◎その他

(1) 支部幹事長会議(40.8.28)出席者:(北海道)(代)板倉,(関東)堺,(中部)(代)青木,(関西)松尾,(西部)(代)今山の各支部幹事長,学会本部:羽田専務理事および事務局の各課長。議事:1)会員増加対策について。2)通常総会および年次学術講演会の実施担当支部について。3)その他;定款改正(副会長3名を4名に増員)は8月16日付で文部大臣の許可があった旨羽田専務理事から報告。

(2) 第15回応用力学連合講演会(40.9.8~9)

場所:東京大学工学部
出席者:200名

(3) 第9回材料試験連合講演会(40.9.9.10)

場所:明治大学大学院
出席者:120名

支部だより

◎北海道支部

(1) 函館地区夏季見学会

- 1) 期 日:40年8月27日(金)
- 2) 参加人員:63名
- 3) 見学工事:青函トンネル工事,七飯陸橋工事,姫川橋PC橋工事

記事:当日は晴天に恵まれ,バス2台に分乗,2級国道函館松前線の沿岸海上もおだやかに眺望され,定刻吉岡町の青函トンネル調査坑現場に到着。同所長和田氏の案内で坑内を実地に見学。同所にて工事概要の説明,昼食後,七飯町地区国鉄陸橋工事を見学,終って完全舗装の1級国道5号線,国定公園大沼湖畔を経て姫川橋工事の説明,見学。

夕陽に映える駒ヶ岳を後に帰路につく。

青函トンネルを見学する一行



(2) 41年度全国大会実行委員会(40.8.31,開発局町田建設部長室)出席者:

大会委員長遊佐志治磨(道開発局長),委員 町田利武,伊藤健二,尾崎 晃,本間四郎,藤井憲治,馬場嘉郎,市瀬勲,坂口 武,支部役員 伊福部宗夫,板倉忠三の各氏。議事:1)予算原案の検討。2)各委員会行事計画。3)募金対策。4)大会の日程。

(3) 41年度全国大会準備本部支部連絡会(40.9.3,札幌ホテル)出席者:本部 羽田専務理事,久保理事,弥武総務課長,支部 遊佐大会委員長,委員 町田,馬場,坂口,尾崎,菅原,伊藤,藤井,本間,支部役員 板倉理事。議事:1)大会行事予算説明検討。2)本部より連絡事項。3)会期の決定。4)会場の下検分。

◎関西支部

(1) 土木建造物の在り方に関する座談会(第2回)(40.9.11京大楽友会館)

- 参加者 京都大学教授 金多 潔
- 京都大学助教授 白石 成人
- 京都大学教授 棚橋 諒
- 京都大学教授 長尾 義三
- 京都市建設局技術長 湯浅 隆義
- 支 部 長 玉井 正彰
- 幹 事 長 松尾新一郎
- 幹 事 山田 善一

(2) 和歌山の開発についての講演会(40.9.14,和歌山県立美術館)

- 題目と講師
- ① 和歌山県の長期開発計画について 和歌山大学経済学部教授 経博 吉田昇三
- ② 和歌山県の埋立事業について 和歌山県企業局建設課長 岡根義久
- ③ 有田川の総合開発事業について 和歌山県有田川総合開発事業建設事務所長 小川豊一

映 画:① 紀勢線全通
② 名神高速道路工事
参加者:67名
参加費:無料

(3) 第5回幹事会(40.9.21 土木学会関西支部会議室)出席者:玉井支部長,松尾幹事長,ほか13名。

昭和40年度土木学会誌編集委員

委員長	樋口芳朗						
委員	浅谷陽治	天野礼二	茨木竜雄	上田勝基	大久保喜市	尾仲 章	北田勇輔
	国広安彦	黒崎 護	小坂 忠	斉木三郎*	堺 幸七	佐藤尚徳	渋谷祥夫*
	高橋 裕*	立石俊一	寺尾英二	豊島 修*	中村正平	西 敏賢	前田 進
	安井英夫	横山義一	吉村 恒	米田宗弘			
地方委員	(北海道支部)	(東北支部)	(関東支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中西支部)	(西部支部)
	河野文弘	岩崎敏夫	番 二郎	酒井清太郎	畑中元弘	川上賢司	徳光善治
	渡辺 昇	倉西 茂	渡辺 健	増田重臣	山田善一	船越 稔	沼田 淳

編	集
後	記

学会誌は専門的な学説、論説あるいは報告等を多数掲載することが順当であると思います。今月も意義ある報告および資料が掲載されましたが、これまでと全く関心のうすかった専門外の問題にも視野を広げてゆくことが社会開発に大きな比重をもつ土木技術者として今後ますます必要になるように思われます。

今月は学会誌としては異色と思われる一文「社会の中の土木技術者」が掲載されましたが、これは複雑化してゆく日本社会の中の土木技術者として当然取り上げなければならない問題の一つを示唆されたものとして皆様のご共感をよぶものと思われます。

これまで工学にたずさわってきた者は一般に技術屋といわれて専門以外のことがらにはうとい人間のように思われ、一方専門の技術さえできればよいように技術者自身も考えていたのではないのでしょうか。

過日の編集後記にもありましたように日本の社会の中の土木学会あるいは土木技術者としての自覚をあらたにするためにも、われわれはいろいろのことを知り専門の分野に反映させなければならないと思います。

もとより学会誌には学術誌としての制約がありますから、これを守らなければならないのは当然ですが、社会の進展とともに土木学会誌もまた発展するような皆様のご協力をお願いいたします。 【北田勇輔・記】

会員の入退会について（昭和40.9.1~30）

入会	167名	(正146 学19 特1C1 特1D1)
復活	1名	(正)
退会	15名	(正1 特1C1 特1D2)
死亡	1名	(正)
転格	1名	正→学

特別会員の入退会（昭和40.9.30現在）

○入会	昭和40.9.10	特1C	横河工事KK	東京都千代田区平河町2-7 塩崎ビル
	" "	9.28	特1D	吹田市建設部土木課 大阪市吹田市泉町1-3-40
○退会	昭和40.9.10	特1C	三機工業KK	東京都千代田区有楽町1-10 三信ビル
	" "	9.4	特1D	KK栗原組 秋田市榎山本町下丁9
	" "	9.13	"	杉山建設KK 札幌市大通西9丁目1番地

会員現在数（昭和40.9.30現在）

名誉	正会員	学生会員	賛助	特級	特1A	特1B	特1C	特1D	特2	合計	(増)
62	17624	3341	30	19	15	51	203	332	49	21726	(152)

正会員 芦田英太郎君 清水建設KK 昭和38年 死去 59才

昭和40年11月10日印刷

昭和40年11月15日発行

土木学会誌 第50巻 第11号

印刷者	大沼正吉	印刷所	株式会社技報堂	東京都港区赤坂溜池5番地
口絵製版印刷者	若林孟夫	口絵写真印刷所	若林原色写真工芸社	東京都港区芝金杉川口町20番地
発行者	羽田巖	発行所	社団法人土木学会	東京都新宿区四谷一丁目
定価	250円(送料15円)	振替	東京16828番	電話(351)5130(編集直通)・5138・5139番

- お求めは直接小社営業部へお申し込みください。
- 50部以上まとめてご注文いただく分については、種々のサービスもごございますから、ご連絡ください。

- 1966年版 **建設機械手帳**
- 建設機械研究会編 / B7判 / 三三〇頁 / 三〇〇円
- 本文
 - 一六三機種の建設機械について一機種一頁、下記項目を掲載 ①写真(性能の概要 メーカー名入り) ②構造・機能の概要 ③用途 ④性能の表わし方 ⑤主要メーカー名
- 資料編
 - ①主要語元表
 - ②作業能力計算公式集
 - ③価格と損料積算基準表
 - ④運営管理の要点(含日報)
 - ⑤機械メーカー一覧表(住所、電話、取扱機種)
- 日記及びメモ
- 京浜地区及び京阪神地区交通要図、七曜表



1966年版

建設機械手帳

〈海外の土木技術1〉鹿島研究所出版会編 A5判/六〇〇円
 欧米の高速道路とケミカルグラウト
 〈海外の土木技術2〉鹿島研究所出版会編 A5判/六〇〇円
 ハイアスワンダムと欧米の地下鉄

●建設会社の第一線で活躍する土木技術者がそれぞれの専門分野について海外の建設事情を視察した興味あるレポート

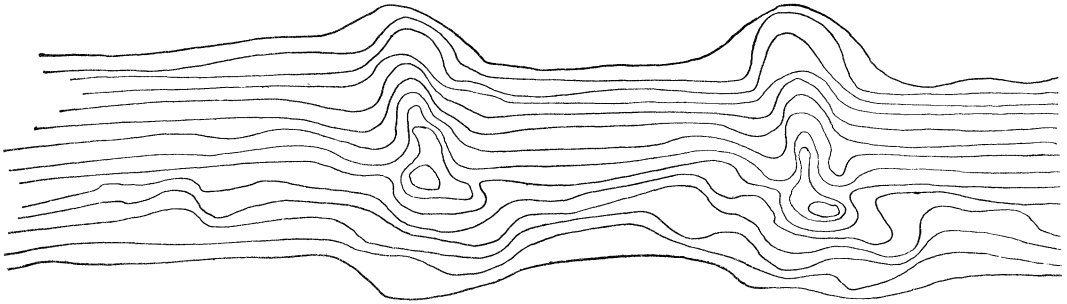
主要目次

- 長大橋 長大橋の深基礎工法/ドームケーソン工法/ウォールスボトム工法/ダブルウォールケーソン工法/その他の欧米の長大橋の基礎工法
- シールド 欧米のシールド工事/欧米のトンネル工事/欧米のトンネル・シールド機械
- 沈埋工法

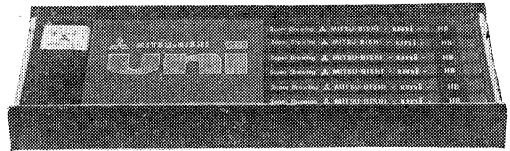
〈海外の土木技術3〉 鹿島研究所出版会編
長大橋とシールド
 図版二九〇点/A5判/二四〇頁/七〇〇円

東京・赤坂水川町9 / 振替東京180883

長い線でも 同じ細さに



かき始めも 先端がくずれない
 途中でもかき減りが少ない



9H-6B 17硬度 1ダース¥600

三菱鉛筆